

- 問1 1950年代後半から1970年代初めにかけての高度経済成長期、国民生活に関する世論調査において、自分の生活水準を「中」程度であると考え
る人が国民の約9割を占めるようになりました。このような社会意識を何と呼びますか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 格差社会への不安 2. 個人主義の徹底 3. 中流意識 4. 不況による節約意識
- 問2 ダイヤモンドの輸出が輸出総額の約8割を占めるボツワナのような「モノカルチャー経済」の国々において、経済を安定させる上での最大の課題
として最も適切なものはどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 特定の資源を輸出する際に、必ず
周辺のすべての国を経由しなければ
ならないため、輸送費が膨らむこと
。 2. 輸出している資源や農産物の国際
価格が下落すると、国全体の収入が
激減し景気が悪化すること。
。 3. ブランテーションでの生産効率が
上がりすぎること、国内の食料自
給率が極端に高くなってしまうこと
。 4. 原材料を輸入して高い技術力で工
業製品を作る加工貿易へ移行するこ
とが、国際法で制限されていること
。
- 問3 1958年に沖縄の高校球児が甲子園大会から持ち帰った「土」が、那覇港に到着した際、植物防疫法を理由に海へ捨てられるという出来事があり
ました。この出来事が起きた背景にある当時の状況として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 沖縄が国際連合の信託統治領であり、独自の検疫制度によって本土と
の交流を遮断していたため 2. GHQの命令により、日本本土の動
植物や土砂を沖縄に持ち込むことが
一切禁じられていたため 3. 沖縄が日本政府の直轄地として、
本土との間での土砂の移動を厳格に
制限する特別法が適用されていたた
め 4. 沖縄がアメリカの施政権下にあり
、日本本土からの移動が「外国」か
らの入国と同じ扱いだったため
- 問4 地形図上で「Y」の字のような記号で描かれる土地利用について、その特徴や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年
北海道公立入試 類似)
1. リンゴやミカンなどの果樹を栽培
する場所であり、現在も日本の農村
部で広く見られる。 2. カイコの餌となる桑を栽培する場
所であり、養蚕業の衰退とともに地
形図で見られる地点が減少している
。 3. 針葉樹を育てるための山林であり
、木材生産のために急斜面などに多
く配置されている。 4. お茶の葉を栽培する場所であり、
主に静岡県や鹿児島県などの台地に
多く分布している。
- 問5 幕末の開港後の貿易において、函館などの港に入港する外国船の数を国別に見ると、ある国は1861年を境に急激に減少しました。この国名と、
船数が減少した主な背景となった出来事の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2020年 北海道公立入試 類似)
1. イギリス — 南北戦争 2. アメリカ — 南北戦争 3. フランス — 産業革命 4. ロシア — クリミア戦争
- 問6 徳川吉宗が進めた享保の改革において、幕府の財政を立て直すために、大名に対して石高1万石につき100石の米を献上させる代わりに、参勤交
代の在府期間を半減させた制度を何というか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. 公事方御定書 2. 参勤交代 3. 上米の制 4. 株仲間公認
- 問7 北極を中心とした正距方位図法で描かれた世界地図の特徴を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 北海道公立入試 類似)
1. 中心からの距離と方位が正しく示
されるが、北極から最も遠い南極大
陸は投影範囲に含まれない。 2. 面積が正しく示されるため、低緯
度に位置するオーストラリア大陸が
実際よりも小さく描かれる。 3. すべての地点からの距離が正しく
示されるため、六大陸すべてが歪み
のない形で一つの図に収まる。 4. 航海に適した地図であり、経線と
緯線が直角に交わるため、最南端の
大陸まで正確な形で描かれる。
- 問8 日本国憲法の規定において、天皇が儀礼的・形式的な国事行為を行う際、常に必要とされる手続きと、その行為に対して責任を負う機関の組み
合わせとして正しいものはどれか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. 内閣による指名 2. 国会による指名 3. 国会による同意 4. 内閣による助言と承認
- 問9 等高線の数値が100mの地点にあるA神社と、150mの地点にあるB神社を結び断面図を作成します。二地点間の等高線の間隔が、A神社付近では
広く、B神社に近づくにつれて非常に狭くなっている場合、断面図のグラフの形状として適切な説明はどれですか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
1. 最初は傾斜が急で、B神社に近づ
くほど傾斜が緩やかになる 2. A神社からB神社まで、一定の傾斜
で標高が上がり続ける 3. 最初は傾斜が緩やかで、B神社に
近づくほど傾斜が急になる 4. 一度100mよりも低い地点を通っ
てから、B神社へ向かって上昇する
- 問10 物価が継続的に上昇し、貨幣（お金）の価値が下がっていく現象をインフレーションと呼びます。この状態が行き過ぎて景気が加熱した際、日
本銀行が物価を安定させるために行う「金融引き締め」の説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
1. 政策金利を下げることにより、企
業が銀行からお金を借りやすくし、
設備投資や消費を刺激する。 2. 所得税や消費税の増税を行い、国
民が自由に使えるお金を減らすこと
で物価の上昇を食い止める。 3. 政策金利を上げることにより、企
業や個人が銀行からお金を借りにく
くし、社会全体の需要を抑える。 4. 日本銀行が持つ国債を一般の銀行
に売却し、市場に出回る通貨の量を
増やして景気を活性化させる。
- 問11 日本の農業や土地制度の歴史の変遷において、江戸時代に見られた特徴として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。 (2018年
北海道公立入試 類似)
1. 戸籍に登録された6歳以上の男女
に対し、生活を保障するために口分
田が与えられた 2. 土地の所有者に地券を発行し、地
価の3%を現金で税として納めさせた
 3. 商品作物の栽培が盛んになり、金
肥として干糞などが広く使用された
 4. 自作農を創設して農村を民主化す
るため、地主の土地を小作人に売り
渡す農地改革が行われた
- 問12 戦後の日本における教育改革の経緯について述べた文章のうち、教育基本法が制定された背景や目的として最も適切なものを選びなさい。
(2026年 北海道公立入試 類似)
1. 明治時代から続く教育の基本方針
である教育勅語の内容を、さらに強
化するために制定された。 2. 日本国憲法の施行に合わせ、民主
主義や平和の理念を教育の土台とす
るために制定された。 3. 冷戦の開始に伴い、国家に対する
忠誠心を持つ国民を育成することを
目指して制定された。 4. 義務教育の期間を短縮し、早期に
専門的な職業教育を行うことを目的
として制定された。
- 問13 かつての日本の企業で広く採用されていた日本的経営の特徴の一つであり、従業員の年齢や勤続年数が増すにつれて賃金が増加する仕組みを何
といいますか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 終身雇用 2. 年功序列 3. 成果主義 4. ワーク・ライフ・バランス

答え合わせ・解説

問1	答え 3 中流意識	高度経済成長によって国民全体の所得が底上げされた結果、大多数の国民が平均的な生活を送っていると感じる「中流意識」が定着しました。この時期は新幹線が開通し、団地での新しい生活が始まるなど、国民の生活水準が大きく向上した時期でもあります。
問2	答え 2 輸出している資源や農産物の国際価格が下落すると、国全体の収入が激減し景気が悪化すること。	特定の品目の輸出に依存しているため、その品目の国際的な市場価格の変動が、ダイレクトに国家の財政や国民の生活に影響を与えてしまいます。豊作による価格暴落や、代替資源の登場などで需要が減った場合、代わりの輸出産業を持たないため、経済的に非常に不安定な状態に陥りやすいという弱点があります。
問3	答え 4 沖縄がアメリカの施政権下にあり、日本本土からの移動が「外国」からの入国と同じ扱いだったため	当時の沖縄はアメリカの施政権下に置かれており、行政上は日本本土から切り離された「外国」に近い扱いを受けていました。そのため、本土から沖縄へ入る際には現在の海外旅行と同様の検疫が行われ、甲子園の土も病害虫侵入を防ぐための植物防疫法に抵触するとみなされました。1972年の返還まで、こうした移動や物流の制限が続いていました。
問4	答え 2 カイコの餌となる桑を栽培する場所であり、養蚕業の衰退とともに地形図で見られる地点が減少している。	地図記号の桑畑は、かつて日本の主要な輸出品であった生糸を生産するための養蚕業を支える存在でした。しかし、化学繊維の普及や海外産の安い生糸の流入により養蚕業が衰退したため、桑畑から他の果樹園や住宅地へと土地利用が変化し、記号そのものが消えつつあります。
問5	答え 2 アメリカ — 南北戦争	1861年から始まったアメリカ国内の内戦である南北戦争の影響により、アメリカは日本への艦船派遣や貿易を継続する余裕がなくなりました。そのため、開国を主導した国でありながら、幕末期の日本における影響力を一時的に低下させることとなりました。
問6	答え 3 上米の制	享保の改革において徳川吉宗は、不足していた幕府の収入を補うため、大名から米を献上させる上米の制を実施しました。これと引き換えに、大名の負担を減らすため参勤交代の江戸滞在期間を短縮する措置がとられました。
問7	答え 1 中心からの距離と方位が正しく示されるが、北極から最も遠い南極大陸は投影範囲に含まれない。	正距方位図法は、図の中心から任意の地点までの距離と方位が正しく表されるという性質を持っています。しかし、図の中心から離れるほど面積や形の歪みが著しくなり、地球の反対側にある地点は地図の円周全体に引き伸ばされるか、あるいは描画範囲外となってしまいます。国際連合の旗のような北極中心の地図では、北極の真裏に位置する南極大陸は範囲に含まれず、ユーラシアやオーストラリアなど他の大陸のみが確認できる仕組みになっています。
問8	答え 4 内閣による助言と承認	日本国憲法第3条により、天皇が行うすべての国事行為には内閣の助言と承認が必要であると定められています。天皇は政治に関する権能を持たないため、その行為が憲法に基づき正しく行われるよう内閣がコントロールし、その結果生じる政治的責任もすべて内閣が負う仕組みになっています。
問9	答え 3 最初は傾斜が緩やかで、B神社に近づくほど傾斜が急になる	等高線の間隔は、地形の傾斜の度合いを示しています。間隔が広い部分は傾斜が緩やか（なだらか）であり、間隔が狭い部分は傾斜が急であることを表すため、A神社側が緩やかでB神社側が急な曲線を描くグラフが正解となります。
問10	答え 3 政策金利を上げることにより、企業や個人が銀行からお金を借りにくくし、社会全体の需要を抑える。	インフレーションを抑えるためには、市場に出回るお金の量を減らす「金融引き締め」が必要です。中央銀行である日本銀行が金利を上げると、利息負担が増えるため、企業は投資を控え、個人はローンを利用した消費を抑えるようになります。これにより、過剰な需要が抑制され、物価の上昇に歯止めがかかります。なお、増税は政府が行う「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別されます。
問11	答え 3 商品作物の栽培が盛んになり、金肥として干鰯などが広く使用された	江戸時代には、都市の発達に伴い野菜や綿花などの商品作物の需要が高まりました。これに伴い、金銭で購入する肥料（金肥）である干鰯（ほしか）や油かすが広く普及し、農業生産力が向上しました。他の選択肢については、地券の発行と地価に基づく課税は明治時代の地租改正、口分田の班給は律令制下の奈良時代など、農地改革は第二次世界大戦後の出来事であり、それぞれ時代が異なります。
問12	答え 2 日本国憲法の施行に合わせ、民主主義や平和の理念を教育の土台とするために制定された。	戦前の日本では天皇の教えである「教育勅語」が教育の規範となっていました。終戦後の民主化の過程で、これを廃止して新しい憲法にふさわしい教育制度を整える必要がありました。そこで、教育の機会均等や男女共学などを原則とする新しい法律がつくられました。
問13	答え 2 年功序列	日本的経営の特徴とされる制度の一つで、経験年数や年齢に応じて給与や役職が上がる仕組みを指します。これに対し、定年まで雇用を継続する仕組みは「終身雇用」と呼ばれます。近年では、仕事の結果や能力を評価して賃金を決める「成果主義」を導入する企業も増えています。